

三井住友海上あいおい生命

セールスレップ制度

営業職員を代理店化

三井住友海上あいおい生命が展開し、急成長を遂げているチャネルとして注目されているセールスレップ(SR)代理店。今後



奥野氏

SR代理店とは。奥野 セールスレップは、元マスマニューチュア

急成長チャネルとして注目

元営業職員の優遇者が店主を勤める中小型代理店

S&P トーア再保険をCWに指定

タイ洪水の影響で格下げの可能性

スタンダード&プア エアにかんがみ、タイの洪水により相当程度

最後のリスク引受人 知られざる再保険 石井隆 著 2011年5月刊

三井住友海上あいおい生命

セールスレップ制度

営業職員を代理店化

三井住友海上あいおい生命が展開し、急成長を遂げているチャネルとして注目されているセールスレップ(SR)代理店。今後



奥野氏

—SR代理店とは。奥野 セールスレップは、元マズミューチュアル生命の営業職員をグループ化した代理店組織だ。2010年1月に旧三井住友海上きらめき生命の専属代理店として全国に36代理店(募集人数329人)を新設してスタートした。36代理店は元内勤マネジャーが店主を勤める大型代理店と、

急成長チャネルとして注目

計り知れないものだった。その思いが新天地での快進撃につながっているのだと思う。チャネル採用率は現在約4%で推移しており、昨年度の売り上げは08年の1.5倍の伸びを示した。—現在の体制について。奥野 今年10月末現在、大手3損保グループ(東京海上グループ、MS&ADインシュアランスグループ、NKSJグループ)から、再保険を一定程度の割合で引き受けている可能性が高い。大手3損保グループのタイ洪水による発生再保険金については、S&Pは現時点で確たる情報を有していないが、国内元受損保会社の主な出再先として強固な事業基盤を持つ同社の市場地位にかんがみ、国内

S&P トーア再保険をCWに指定 タイ洪水の影響で格下げの可能性

スタンダード&プア エアにかんがみ、タイの洪水により相当程度の発生再保険金の計上が見込まれることから、同社の財務プロフィールへのマイナス影響が現格付けで許容可能な範囲を超える可能性がある」とS&Pはみて

困難と考えられることにかんがみ、同発生保険金はまだ変動し得るとみている。従って、元受各社の発生保険金の水準とトーア再保険の再保険引き受けの規模や再々保険による手当ての水準によって、同社の保険損失が相当規模に達し、2012年3月期の業績が大きく圧迫される可能性がある」とS&Pはみている。足元の国内株価低迷により、株式合

み益が圧迫されていることも加味すると、同社の自己資本基盤に対する劣化圧力が高まっている。同社の自己資本基盤は、東日本大震災に関する保険金支払いに伴い、11年3月期に異常危険準備金を取り崩したことなどで弱まったことから、さらに劣化した場合、同社の財務プロフィールが現在の格付けに見合う範囲内にとどまらない可能性がある

あるとS&Pはみている。S&Pは、タイの洪水による同社の損失を確定の上、今後3カ月以内にCWを解除する予定。解除に当たっては、国内外の自然災害による損失見込みや、資産運用状況、再保険市場トレンドなどを確認し、同社の収益力や自己資本水準の見直しを検討する。その結果、仮に財務プロフ

ルが現在の格付けに見合う範囲内にとどまらないと判断した場合、格付けを引き下げる。ただし、格下げとなる場合でも1段階(フッチ)にとどまる可能性が高いとみている。一方、タイ洪水による損失が少額にとどまった場合や、自己資本基盤が毀損(きそん)しても短期間で回復が可能と判断した場合、格付けを据え置く。

最後のリスク引受人

知られざる再保険 石井隆 著 2011年5月刊

M9.0の巨大地震と十数メートルに達する巨大な津波が襲ってきた東日本大震災。25兆円にも達すると予想される経済損害に企業や国家の備えは万全だったのか? 「予測を大きく超えた自然災害」や「想定外の重大事故」から社会や経済を守る最後の防波堤が再保険である。保険会社が抱えるリスクを最終に引受ける再保険とはいかなるものか? 知られざる再保険の仕組みと実態、そして未来を解る希望の1冊。

緊急収録 「想定外」—東北地方太平洋沖地震の衝撃

お申込は FAX または Web で FAX 03-3865-1431 http://www.homai.co.jp

●定価(本体1,900円+税) ●A5判並製・219頁・送料290円 保険毎日新聞社 東京都千代田区岩本町1-4-7 TEL03-3865-1401

